



## CHECK! (お申込み前に生徒の方にご確認ください)

- 本セミナーは約4ヶ月間(毎週)受講するキャンパスへ出向き、継続して出席する必要があります(約15回)。受講希望科目の受講条件は確認しましたか。
- 自宅または高等学校から、受講するキャンパスへの通学にかかる時間(移動時間)と授業開始時間を確認しましたか。
- 交通費やテキスト代は自己負担となります。インターネットに接続し、授業で使用する教材を印刷したうえで、授業に出席することが求められる場合もあります。
- 本パンフレットに掲載の講義概要は、本学のシラバス(講義要項)2022年度版より抜粋しているため、変更が生じる場合があります。実際の講義概要については、本学のホームページから2023年度のシラバスを確認してください。

【第3時限】13:00～14:30 【第4時限】14:40～16:10 【第5時限】16:20～17:50

開講学部・学科等	科目名 ※は定員、受講条件を表します。	講義概要 (※2022年度のシラバス抜粋)	学期	曜日・時限
法学部 法学政治学科	<b>会社法1</b> (企業統治) ※受講定員:3名 	会社法を対象とし、主として株式会社について講義します。会社法総論、株式会社の機関を採り上げ、とくに企業統治に関わる、株式会社の機関を中心に講義を行います。	秋	木曜日・5限
	※受講条件：授業で使用するレジュメは学内システムを通じて事前に入手すること			
	<b>国際政治学1</b> 	グローバルな広がりでも相互に浸透しあう現象に直面し、これまでは問題とされなかった分野にまでその関心を広げている21世紀の国際社会は、主権国家の相対的な後退と、国家以外のアクターの登場により新しいガバナンスへと変容を見せる一方で、イラク攻撃に見られたような力の支配の要素も強く残っています。本講義では、国際政治の理論、アクターの性質を学んだ上で、国際政治の争点となっている問題を検討し、国際社会の問題を考える視座を各自が持つことを目的としています。	春	火曜日・5限
<b>国際政治学2</b> 	今日の国際政治は、良くも悪くもアメリカ外交の影響を抜きに論じることはできません。本講義では、第二次世界大戦後のアメリカ外交に焦点を絞り、主要なテーマと地域の二つの観点からアメリカ外交を分析し、その問題点と可能性について考えていきます。	秋	火曜日・5限	
文学部 総合人文学科 国語国文学専修	<b>学びの扉</b> (国語国文学)	日本語や日本文学を題材として、日本人のこころや日本文化のありさまについて学びます。高等学校で学ぶ「現代国語」や「古文」とは違った、国語学(日本語学)研究と日本文学研究の「方法」と「たのしさ」を紹介していきます。	春	火曜日・5限
		秋	火曜日・5限	
文学部 総合人文学科 比較宗教学専修	<b>学びの扉</b> (比較宗教学)	比較宗教学専修の入門講義です。比較宗教学専修とはどのようなところか、比較宗教学専修にはどのような先生がいるか、比較宗教学専修ではどのような知と方法に出会えるのか、比較宗教学を知ることで、どのようなことが見えてくるのかなどについて、概説します。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 芸術学美術史専修	<b>学びの扉</b> (芸術学美術史)	芸術学美術史専修の入門講義です。芸術学美術史専修は何を学ぶところか、専修所属の各教員はどのような研究を行い、それがどのように授業に反映されているか、専修の先輩は学生時代どのような研究テーマを扱い、社会で活躍しているかなどについて、概説します。	春	金曜日・5限
		秋	金曜日・5限	
文学部 総合人文学科 ヨーロッパ文化専修	<b>学びの扉</b> (ヨーロッパ文化)	フランスを中心としたロマンス語圏、およびドイツを中心としたゲルマン語圏に軸足を置きながら英語圏の文化も視野に入れてヨーロッパを見ていきます。横文字・アルファベットを操る人たちがどのような文化を築いてきたか、そして現代においてどのような問題を抱えているかをぜひここで探ってみてください。	春	火曜日・5限
		秋	火曜日・5限	
文学部 総合人文学科 日本史・文化遺産学専修	<b>学びの扉</b> (日本史・文化遺産学)	日本史・文化遺産学のエッセンスを知るための入門講義です。日本史学は、考古学が対象とする原始時代からはじまり、昭和・平成を含む近現代までいたる、ヒトとモノに関わるすべてのことを学びます。文化遺産学は、人類の活動によって生み出された有形・無形の文化的創造物を学ぶもので、とくに日本・沖縄・朝鮮などの文化遺産を中心に学習します。日本史・文化遺産学の概要と専修の紹介や、各専門分野から、ホットな話題を取り上げながら、最新の研究状況について講義します。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 世界史専修	<b>学びの扉</b> (世界史)	大学で研究されている「世界史」とはどのようなものかについて学びます。それらに加え、学問としての世界の歴史の興味深さを本講義では伝えていきます。世界の各地域、時代に関し、歴史の学びのありかたについて具体的に話していく中で歴史を研究するとはどのようなことかを受講生の皆さんに伝えていきます。	春	金曜日・5限
		※受講条件：学内システム掲載のレジュメに事前に目を通すこと		
文学部 総合人文学科 初等教育学専修	<b>学びの扉</b> (初等教育学)	本講義では、初等教育学の基礎理論について、学校や地域で生起している具体的な事例と関連づけながら体系的に学修することを通して、学校教育の役割と教職の概要を理解します。	春	火曜日・5限
※受講条件：小学校教員を志望するか、将来の進路として考えている人				
文学部 総合人文学科 心理学専修	<b>学びの扉</b> (心理学) ※受講定員:10名	心理学とはどのような学問なのか、心理学の研究はどのように行われているのか、そして、心理学を学ぶことにはどのような意義があるのかを理解するため、専修に所属する教員が専門としている研究の一端を概説していきます。	秋	金曜日・5限

【第3時限】13:00～14:30 【第4時限】14:40～16:10 【第5時限】16:20～17:50

開講学部・学科等	科目名 ※は定員、受講条件を表します。	講義概要 (※2022年度のシラバス抜粋)	学期	曜日・時限
文 学 部 総合人文学科 映像文化専修	学びの扉 (映像文化)	映像文化専修で何をどのように学ぶことができるのか、どのような教員によって指導を受けることができるのかなどを具体的に理解してもらうための入門講義です。	春	火曜日・5限
			秋	火曜日・5限
文 学 部 総合人文学科 文化共生学専修	学びの扉 (文化共生学)	文化と共生を考えるための入門講義です。扱う地域は主としてヨーロッパと日本ですが、異文化理解、比較文化論、文化接触、共生の問題について、どのようなアプローチをすればよいのかを提示します。	春	火曜日・5限
			秋	火曜日・5限
文 学 部 総合人文学科 アジア文化専修	学びの扉 (アジア文化)	アジアの思想と文化、歴史と習俗、宗教と文学などを幅広く学びます。特に、アジア文化と日本の関連について注意していきます。アジアの中でも中国・韓国(朝鮮)・日本の東アジアを重点的に扱い、さらに東南アジア・インド地域についても言及します。	春	火曜日・5限
			秋	火曜日・5限
外国語学部 外国語学科	スタディ・アブロード 地域文化入門	本講義では、スタディ・アブロード対象地域の地域文化を含む、世界のさまざまな地域のことばや文化について理解を深めます。英語圏・中国語圏だけではなく、東アジア、中央アジア、ヨーロッパの各地域文化について、多言語多文化共生時代を見据えた、幅広い知識を提供します。一部の講義は英語で行われます。	春	金曜日・5限
社会安全学部 安全マネジメント学科 高槻ミューズ キャンパス開講	リスク評価法	本講義では、日常生活におけるさまざまなリスクを評価する考え方や手法を取り扱います。自然災害や事故、薬物など、分野によってリスクの考え方や捉え方は異なりますが、それぞれの考え方を比較しつつ、包括的に学びます。	春	月曜日・5限
	地盤災害論	土木工学分野を構成する重要な分野の1つである「地盤力学(土質力学)」の基礎知識について解説し、地盤災害の発生メカニズムからその対策までを考えます。	秋	月曜日・5限
	製品安全論	特に技術面の内容を中心に、安全な製品を開発する上で基礎となる項目について修得することを目的とします。本講義で対象とする「製品」とは工作機械、立体駐車場などの大型のものから家電などの小型のものまで広く含むものとします。	秋	月曜日・5限
	※受講条件：学内システムに掲載される資料を事前に確認すること			
システム理工学部 電気電子情報工学科	基礎プログラミング ※受講定員：10名	コンピュータをプログラムするための基礎的な概念を学習し、実際のプログラム作成を通してプログラミング技術の習得を行います。携帯用機器からスーパーコンピュータまでカバーし、現在実用的に用いられているさまざまなプログラミング言語の元祖でもあるC言語を学習します。	秋	金曜日・5限
※受講条件： ・インターネットに接続したWindows/パソコンが自宅にあり、自宅学習が可能なこと ・WindowsやWordなどの基本的なパソコン操作ができること ・毎回演習を行うため、積極的に演習に取り組む姿勢があること ・欠席すると講義内容についていけなくなることもあるため、原則として全回出席できること				
化学生命工学部 生命・生物工学科	食品衛生学	食品衛生に関わる基本的な事項を解説して基礎的な知識を紹介します。これまでヒトが経験的に使っていた食品衛生に関わる「技術」や過去の「食」にまつわる事故についても解説します。食料の一次生産から流通・加工・調理、さらにヒトが摂取するまでの各過程を科学的に分析し、現状の問題点や将来の食品の安全確保への方法と対策を考える情報を提供します。	秋	木曜日・5限